

【プレスリリース】

2026 年 6 月 9 日

**さぼうと 21、「こども音楽食堂」を江戸川双葉幼稚園で開催
～プロの演奏と打楽器体験を通じて子どもたちに文化芸術体験を提供～**

社会福祉法人さぼうと 21（理事長：蘭〈あらざ〉信三・上智大学名誉教授）は 2026 年 6 月 4 日（木）、江戸川双葉幼稚園（園長：菅原 創）において、「こども音楽食堂」を開催しました。

「こども音楽食堂」は、芸術に触れる機会が限られている子どもたちを主な対象として、プロのオーケストラメンバーによる演奏と軽食を提供する事業です。本事業は、株式会社シルバーボックス・プリンシパル代表取締役である日野洋一氏を発起人として、さぼうと 21 が 2026 年度に開始した新たな取り組みであり、一般社団法人パシフィックフィルハーモニア東京（理事長：吹浦忠正）との協働により実施するものです。

イベント当日は、演奏会に先立ち、江戸川双葉幼稚園の菅原園長よりご挨拶をいただくとともに、本事業に特別協賛いただいている株式会社シルバーボックス・プリンシパルの保智昌彦副社長より、オーケストラ音楽の魅力についてお話いただきました。

演奏会では、パシフィックフィルハーモニア東京のメンバーによる弦楽四重奏に加え、フルートや打楽器を交えた演奏を披露しました。江戸川双葉幼稚園に集った 100 名を超える園児たちは、目の前で奏でられるクラシック音楽やアニメ音楽に次第に引き込まれ、いつの間にか演奏者たちの足元近くまでにじり寄り微笑ましい光景も見られました。江戸川双葉幼稚園の菅原園長は、「ほとんどの子どもたちは、普段クラシック音楽に触れる機会がありません。見たことのない楽器を間近で見て、その音色や演奏を体感できたことは、子どもたちにとって非常に豊かな経験になったと思います」と感想を述べられました。

なお、演奏会のプログラムは以下で構成されました。

スネアパフォーマンス／ボレロ／「きらきら星変奏曲」を使った楽器紹介
海に見える街（『魔女の宅急便』より）／メヌエット（『アルルの女』より）
さんぽ（『となりのトトロ』より）／ぼよん行進曲（アンコール）

また、イベントの最後には打楽器体験会を実施したほか、子どもたちに人気のチョコレートやグミなどのお菓子をプレゼント。打楽器体験では、園児たちがスティックを手に実際にドラムを叩き、音楽の楽しさを体感しました。プロの演奏を聴くだけでなく、自ら楽器に触れることで、音楽への関心をさらに深める機会となりました。

今回演奏会を開催した江戸川双葉幼稚園では、園児の約 1 割が外国にルーツを持っています。さぼうと 21 は、すべての子どもたちが文化芸術に親しむ機会を得られる社会の実現を目指し、体験格差の解消に向けて「こども音楽食堂」の取り組みをさらに広げてまいります。



写真 1 : プロのオーケストラメンバーが奏でる音色に、次第に前のめりになり、目を輝かせながら聴き入る園児たち



写真 2 : ホンモノの楽器に興味深々の園児たち



写真 3 : ドラムを叩くのは初体験。「楽しかったあ。」

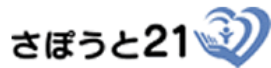


写真 4 : 園児たちへのお菓子のプレゼントを代表して受け取る

菅原園長 「後でみんなに分けるからね。私が代表して受け取るからね。」



写真 5 : お別れの時。「もう終わってしまうの〜?」「また来るからね。」「また来てね!」



さぼうと21 社会福祉法人さぼうと21

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6 階

Tel: 03-5449-1331 Fax: 03-5449-1332

Email: info@support21.or.jp Web: www.support21.or.jp

<寄付のご案内>

上記「子ども音楽食堂」の趣旨にご賛同いただける皆さまより、ご寄付を賜りますようお願い申し上げます。詳しくは、さぼうと 21 のウェブサイト (<https://support21.or.jp/donation/>) をご覧ください。

「子ども音楽食堂」に関するお問い合わせなどは、以下にご連絡ください。

社会福祉法人さぼうと 21

〒141-0012 品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6F

TEL 03-5449-1331 (10:00-18:00 ※土日、祝祭日を除く)

Email : s21kodomo@support21.or.jp

子ども音楽食堂担当 (柳瀬・山崎)

■ 社会福祉法人さぼうと 21 について

社会福祉法人さぼうと 21 は、日本に定住するインドシナ難民、条約難民、中国帰国者、日系定住者及びその子弟などの自立を支援する団体です。インドシナ難民の日本への定住支援を目的として 1979 年に設立された「インドシナ難民を助ける会」(現・AAR Japan [認定 NPO 法人難民を助ける会]) の事業を引き継ぎ、1992 年に社会福祉法人として設立されました。

■ 一般社団法人パシフィックフィルハーモニア東京について

1990 年設立。飯森範親音楽監督のもと、クラシックを軸にオペラ、バレエ、さらにはアニメやゲーム音楽まで多彩なジャンルの演奏を展開しています。2018 年からは練馬区での定期演奏会を開始。子どもたちに音楽を届ける活動を重視し、オーケストラならではの響きと調和の姿を伝えるべく、地域や教育現場に寄り添った地道な演奏活動を積み重ねています。